

# 外食控え傾向から

## 「家飲み」推奨のブースも登場

### アユ、ウナギ、ニジマスなど多彩な出展に

(社)日本セルフサービス協会は8、10日、東京お台場の東京ビッグサイトで第四回となる「スーパーマーケットトレードショー」を開催した。

消費背景の厳しさから一般消費者が外出するケースが極端に減り、家で飲む「家飲み」が増える中で、そうした世相を反映したブースといえよう。

島根県では高津川漁協を管理に努める同漁協の取り

ウナギ関係では静岡県浜松市の大手川魚問屋の(株)海老仙はタスマニア産天然ウナギをブースで展示、ウナギエキスを豊富に含んだ「うなぎドリンク・鰻(マン)パワー」



展示会ではスーパーマーケットでの売り場作りに書かせない什器や包装関係機器の展示に加え、売り場作りに書かせない様々な食材の展示が行われ、新たな食材を求めるバイヤーで大いに賑わう。



スーパー・量販店等の流通を始め、多くの業界関係者が訪れる。今年も8万1747名が来場するなど、盛況だった。



特に、各県が地域のコーナーとして大々的に設けており、地元の特産品が目白押しとなっている。醤油メーカー等の出店も比較的多い中で、ユズポン酢等の商品が比較的目的立った。



また、国分株のブースでは「家飲み」を推奨するブースを大々的に設置、家で簡単に飲めるような商品として缶詰商品「缶つま」ブランドを紹介すると共に、アルコール等も提供している。

組みについても触れる中で、「高津川アユ」のおいしさをアピールしていた。

なお、来場者は八万一千七十七名となっており、09年の七万八千四百八十八名、08年の七万五千五百二名、07年の七万三千五百四十二名をいずれも上回っていた。

第44回「スーパーマーケットトレードショー」日本セルフサービス協会 8、10日東京ビッグサイト